

出典：裁判所ホームページ (<https://www.courts.go.jp>) の裁判例情報をもとに作成

事件番号	平成 13(受)91	原審裁判所名	東京高等裁判所
事件名	配当異議事件	原審事件番号	平成 12(ネ)3140
裁判年月日	平成 13 年 10 月 25 日	原審裁判年月日	平成 12 年 10 月 25 日
法廷名	最高裁判所第一小法廷		
裁判種別	判決		
結果	棄却		
判例集等	民集 第 55 卷 6 号 975 頁		

判示事項	抵当権に基づき物上代位権を行使する者が債権差押事件に配当要求することにより優先弁済を受けることの可否
裁判要旨	抵当権に基づき物上代位権を行使する債権者は、他の債権者による債権差押事件に配当要求をすることによって優先弁済を受けることはできない。

全 文	
主 文	
本件上告を棄却する。 上告費用は上告人の負担とする。	
理 由	
上告代理人吉田忠子、同根本良介の上告受理申立て理由について 【要旨】抵当権に基づき物上代位権を行使する債権者は、他の債権者による債権差押事件に配当要求をすることによって優先弁済を受けることはできないと解するのが相当である。けだし、民法 372 条において準用する同法 304 条 1 項ただし書の「差押」に配当要求を含むものと解することはできず、民事執行法 154 条及び同法 193 条 1 項は抵当権に基づき物上代位権を行使する債権者が配当要求をすることは予定していないからである。 これと同旨の見解に基づき本件配当表の変更を求める被上告人の本訴請求を理由があるとした原審の判断は、正当として是認することができ、原判決に所論の違法はない。論旨は採用することができない。 よって、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり判決する。 (裁判長裁判官 藤井正雄 裁判官 井嶋一友 裁判官 町田顯 裁判官 深澤武久)	

※参考：判例タイムズ 1083 号 127 頁、判例時報 1774 号 35 頁、最新・不動産取引の判例 (RETIO) 233 頁